

市議会全員協議会における市内循環バスの再編に対する意見

●開催日時

平成24年9月12日（水）

●開催場所

武蔵村山市議会議場

●市内循環バス関連意見等要旨

- ・運行開始時期を遅らせて、新たな公共交通も含めて時間をかけて再検討するべき。（バス再編と新たな公共交通の導入は同時でなければならない）
- ・上北台ルート（日中時）の村山団地内を通るルート沿いには、団地の建替に伴う移転等によりほとんど居住者がいないので、更に南の交番がある道路又は江戸街道を通行するルートに変更するべき。
- ・ワンコイン運賃の総括をするべき。また、路線バスへの影響を数値化し明確に示すべき。
- ・今回の変更案では、乗り継ぎに対する改善は図れるのか。
- ・地域公共交通会議の法的根拠と所掌事項は何か。
- ・福祉会館バスの存在を認識して検討を行ったのか。
- ・バス1台の値段が新たな公共交通の運行経費とそれほど変わらないのであれば、バス車両を1台増やして伊奈平地域を運行したらどうか。
- ・ルート変更等を頻繁に行っているから市民に定着しない。
- ・ワンコインで利用者が増えても、170円均一にしたら元に戻るのには目に見えている。抜本的な見直しを時間をかけてやるべき。
- ・日中時は市内の公共施設を広く廻る循環ルートを作るべき。
- ・高齢者（免許返納者）に配慮したルート設定をすべき。
- ・再編案での運行開始まで、どのようなスケジュールとなっているか。
- ・不便地域になる南西地域に説明が不足している。
- ・ワンコイン運賃試行によってバス会社の損失は拡大したのか。また、170円均一にすることによって損失の圧縮が図れるのか。